◆防災対策

近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化し、さらには南海トラフ地震・首都直下地震などの大規模地震の発生も切迫しています。小樽開発建設部では、地域の防災力の向上を図るとともに、災害発生時によりきめ細やかな地域支援を行うため、関係機関、地方公共団体等と緊密に連携した様々な取組を行っています。

災害時の主な支援（TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)による支援）

1. リエゾン（現地情報連絡員）の派遣

重大な災害が発生し、又は発生のおそれがある場合にリエゾン（現地情報連絡員）として地方公共団体等に職員を派遣し、被災状況や北海道開発局への支援要望等の情報収集、災害情報の提供、災害対策用機械などの支援物資に関する連絡調整を行っています。

2. 被災状況調査等

被災状況の把握や被災地等の早期復旧のための技術的支援など、被災地方自治体の支援を迅速に実施しています。

令和元年10月発生の東日本台風では宮城県丸森町で被災状況調査や給水支援等を行ったほか、令和6年1月発生の能登半島地震災害と、同年9月発生の能登半島豪雨災害では、それぞれ石川県輪島市で被災状況調査を行いました。

3. 災害対策用機械

北海道開発局が保有する各種機械・機材を速やかに被災現場へ出動させることで、早期復旧できるよう支援を行っています。

道路・河川被災状況調査（石川県輪島市）

道路被災状況調査（石川県輪島市）

散水車による給水支援（宮城県丸森市）

◆管内の概況

▼位置・気候

小樽開発建設部が管轄する後志は、北海道の南西部に位置し、北と西は日本海に面し、東は大都市札幌、南部は渡島半島に接しています。気候は、春から夏にかけて温暖で晴天の日が多く、過ごしやすい地域ですが、秋から冬にかけては北西の季節風の影響を受け、風雪が強く、特に羊蹄山麓は道内屈指の豪雪地帯です。

▼後志の『食』

管内の農業は、野菜、果樹、酪農など幅広い分野の生産が行われ、「北海道農業の縮図」と呼ばれるほど、農家の経営形態は多岐にわたっています。

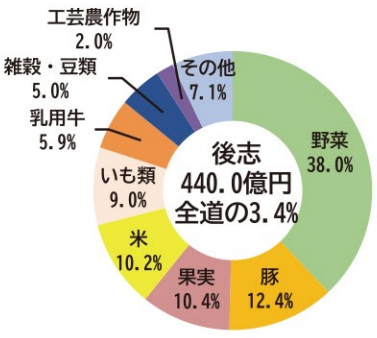
管内の漁業は、かつては、にしん、現在は、たら、ほっけ、うに等の漁獲に支えられています。また、安定した資源の維持増大を図るため、さけ、にしん等の種苗放流により、つくり育てる漁業の取組が進められています。

▼後志の『観光』

管内は、国内外からの多くの観光客が訪れる北海道を代表する観光エリアです（R6年度：2,371万人）。

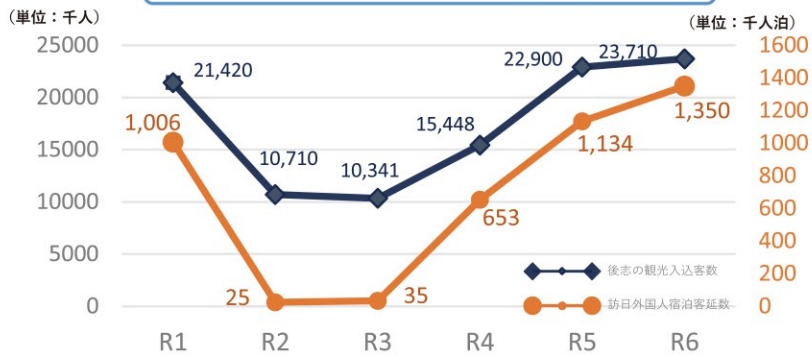
世界有数のスキーリゾート地であるニセコエリアを中心に、アジア圏のほか、オーストラリアや欧米からの多くの宿泊客で賑わいます。

●後志の農業産出額の内訳(R4)



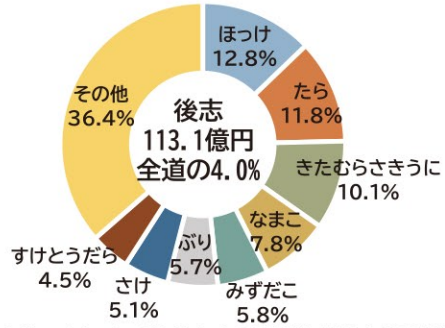
出典：後志の農業2025（北海道後志総合振興局）

●後志の観光入込客数及び訪日外国人宿泊客延数



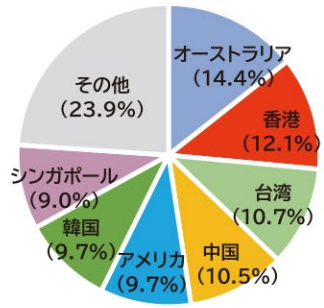
出典：令和6年度　後志総合振興局管内観光入込客数の概要（北海道後志総合振興局）

●後志の漁業生産高魚種別構成(R6)



出典：令和6年北海道水産現勢(北海道水産林務部)

●後志の訪日外国人宿泊客（国別の状況）(R6)



出典：令和6年度北海道観光入込客数調査報告書（北海道経済部）